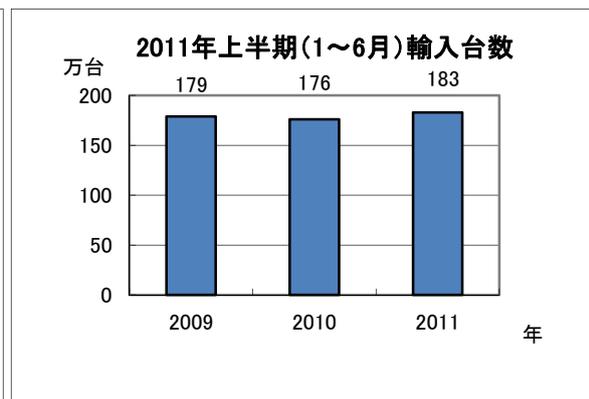
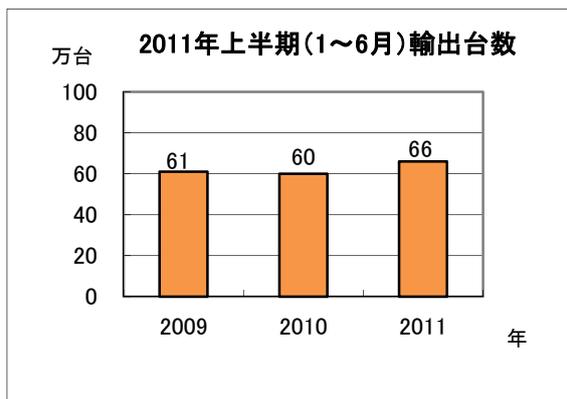
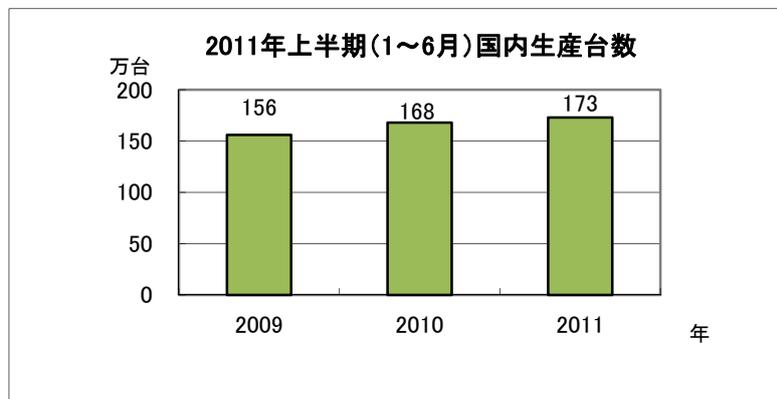


## 2011年上半期ドイツ自転車市況

### 1. 生産、輸出入

2011年上半期(1~6月)ドイツ自転車市場は、生産、輸出入及び国内出荷のすべての数値で前年同期を上回る結果となった。ドイツ二輪産業協会(ZIV)では、現在、同国市場で販売好調の電動アシスト自転車(EPAC)が総じて良い影響をもたらしたものとみている。

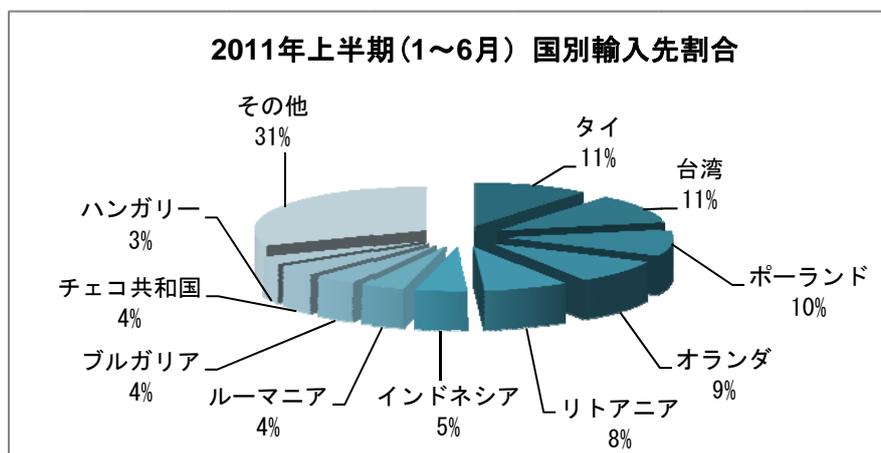
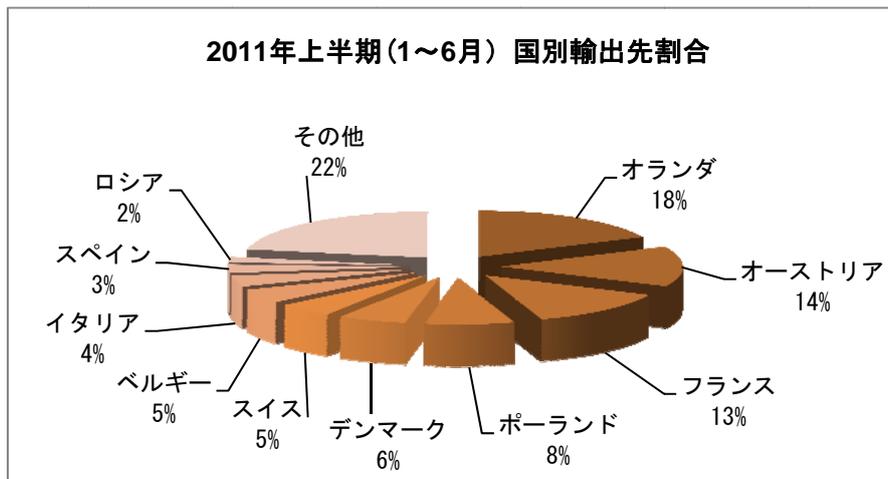
2011年上半期ドイツ国内の自転車生産台数は前年比3%増の173万台となり、自転車輸出台数は同比10%増の66万台、輸入台数は同比4%増の183万台であった。輸出平均単価は前年比17%増の372ユーロ(39,060円)と続伸し、昨年、若干下落した輸入平均単価は同比10%増の215ユーロ(22,575円)と持ち直した。



国別輸出先では、オランダ11.8万台が前年より1万台増え最多輸出先に返り咲いた。次いでオーストリア9万台、昨年最多のフランスは8.3万台となり昨年より2.6万台も減少した。その他、ポーランド、デンマーク、スイス及びベルギー等、輸出先の殆どは欧州地域が占めている。

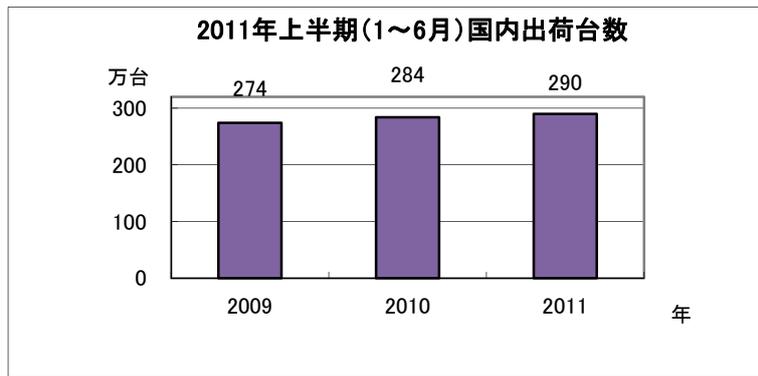
国別輸入先について、アジア地域ではタイが急伸し、台湾と肩を並べて最多輸入先となり、カンボジアは上位から姿を消した。欧州地域ではリトアニアが増加し、新たにブルガリアが

上位に顔を出した。更に昨年姿を消したハンガリーが再浮上した一方で、ルーマニアは減少する等、中東欧地域だけ見ても輸入先はめまぐるしく変化している。



## 2. 国内出荷と今後の見通し

2011年上半期(1~6月)の国内出荷台数は、前年比2.1%増の290万台であった。特に電動アシスト自転車(EPAC)は販売好調を維持しており、ZIVでは2011年のEPAC販売予想をドイツで30万台としている。更に欧州全体では、2010年のEPAC販売台数70万台に対し、2011年は90万台に達するともみており、同車種の更なる成長により本年下半期も同国市場は堅調に推移することが期待されている。



統計出所： ドイツ二輪産業協会 (ZIV)

以 上

(国際業務部)